



2018 No.166

くるめ福祉 4

発行 久留米市社会福祉協議会



ボランティアフェスティバル開催 3ページ

3月11日、第39回久留米市ボランティアフェスティバルが、久留米シティプラザで開催されました。

日頃のボランティア活動の発表や、バザー、体験コーナーなど盛りだくさんの一日でした。

『こころあふれる支え合いのまちくるめ』の実現のために
平成30年度事業計画

市社会福祉協議会は、社会的孤立や生活困窮など、課題に対応し、地域で安心して暮らし続けるための切れ目のない支援や支え合いの仕組みづくりを、行政や地域団体等との協働により進めます。

重点取り組みの内容

地域福祉活動、小地域ネットワーク活動の推進

・各校区にコーディネーターを配置し、地域福祉活動の支援を積極的におこないます。

生活支援体制整備事業の推進

・コーディネーターを増員し、地域や関係機関等との一層の連携強化を図ります。

地域における

公益的な取り組みの推進

・地域における公益的な取り組みとして、「ふくおかライフレスキュー事業」に積極的に参画します。

・職員が、生計困難者等に寄り添って相談・支援活動をおこないます。

・市内の社会福祉法人と協力し、「ライフレスキュー久留米連絡会」を開催し、相互の連携強化を図ります。

生活支援・相談機能の充実

・ふれあい福祉相談員の対応力向上を図ります。
・生活福祉資金貸付事業の相談者等に対し、第二のセーフティネットとして必要な相談・助言をおこなうことにより、低所得世帯などへの自立促進を図ります。

成年後見事業の推進

・成年後見制度の一層の普及・啓発に努め、制度利用を促進します。

福祉教育の推進

・学校と校区社会福祉協議会、校区コミュニティ組織、ゲストティーチャー等が、相互理解を深め、協働しながら地域における福祉教育の推進を図られるように、交流を

促します。

・福祉教育セミナーなど学習機会の提供に努めます。

・「福祉教育プログラム集」を活用し、学校や地域における福祉教育の普及促進に努めます。

ボランティア活動の活性化

・個別ニーズや各種支援サービス等の情報収集及び発信に努めます。
・ボランティア募集やイベント等の情報紹介等におけるマッチング支援を強化します。
・生活課題や分野別のボランティア養成講座等を開催することにより、個人ボランティアや団体活動の活性化に取り組めます。

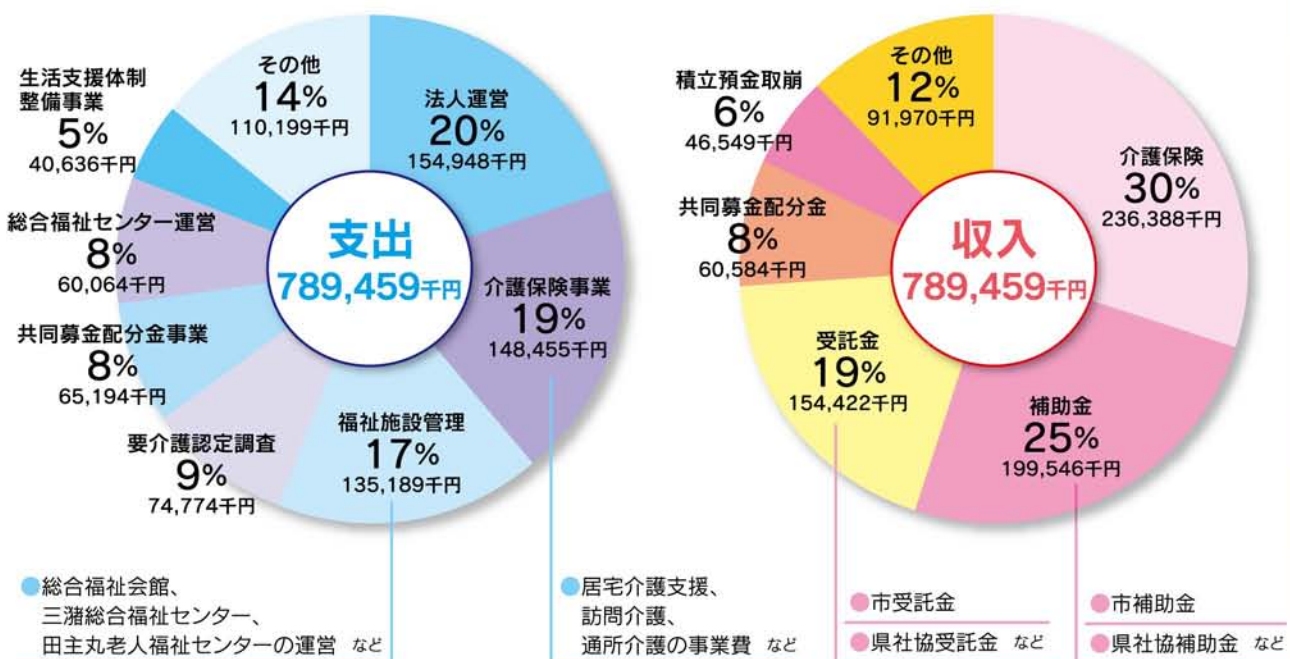
広報啓発機能の強化

・デザインやレイアウトの見直しに取り組み、読みやすい紙面づくりに努めます。

指定管理受託施設の運営

・福祉活動の拠点施設として円滑な運営に努めます。

平成30年度資金収支予算





フリーマーケットの様子

13年 寄付を続けて 200万円

～マミーズ西牟田店 特別表彰～

3月23日、三潯総合福祉センターゆうゆうにおいて、市社会福祉協議会は食品スーパーマーケット「マミーズ 西牟田店」様（秋山誠司店長）に、特別感謝状を贈呈しました。

株式会社マミーズは、福岡市周辺や佐賀県南東部、熊本県北西部などに約40店の店舗網が広がり、その中のひとつに西牟田店があります。

西牟田店では、開業以来、親しみ愛される地域密着型のスーパーマーケットとして営業されています。その一環として、毎月、第1、第3日曜日のフリーマーケット、朝市などの週間イベントを実施され、多くの来場者でにぎわっています。

このフリーマーケットの企画にあたり、当初から地域の皆様のお役に立てるために出店料の一部を、久留米市社会福祉協議会へ寄付を毎月されてきました。

今回の特別表彰を受け、秋山店長からは、「マミーズは、『地域社会に密着し、商品を通じてお客様に安全・安心・公正をお

Mammy's

フリーマーケット出店者を大募集

【場 所】マミーズ西牟田店駐車場
【日 時】毎月第1、第3日曜日
AM8:30～
【出 店 料】1スペース 1,000円
【問合わせ】TEL0942・52・5446
(マミーズ西牟田店)

届けし、地域社会に貢献する』の企業理念のもと、今後も地域から信頼され必要とされるスーパーマーケットを目指し、地域発展のため社会福祉事業への寄付ができるよう日々頑張りたい」と、お礼の言葉をいただきました。



写真左：秋山 誠司 店長

第39回 久留米市 ボランティアフェスティバル

3月11日、第39回ボランティアフェスティバル（主催：同実行委員会）が、久留米シティプラザで開催されました。（写真）

六角堂広場では、日頃ボランティア活動をしている皆さんによるバザーコーナーや、ステージ発表がありました。展示室や会議室では、講演会や大学生ボラ

ンティアの企画による体験コーナーなどがありました。また、平成29年7月九州北部豪雨災害で被害を受けた三連水車の里あさくら」の物産展や、東日本大震災時の聴覚障害者のドキュメンタリー映画「架け橋 きこえなかつた3・11」などの上映もあり、たくさんの方々ににぎわいました。





みんなで手芸

身近なところでいいことたくさん

ふれあい、いきいきサロン活動とは、身近な小地域（自治会等）を単位として、高齢者や障害者、児童など地域住民とボランティアが一緒に企画し、運営する「仲間づくり」「健康の維持・増進」「生きがいづくり」を進めるための活動です。市内には、こうしたサロンと呼ばれる「集いの場」が260か所以上あります。

三瀬校区
フリーサロン早友会
そうゆうかい

フリーサロン早友会は、

三瀬校区の早津崎自治会を中心に、平成29年5月10日に立ち上げました。早津崎老人クラブ会長の松崎嵩廣氏が「早津崎」という地名と、サロンのの中では自由に自分の好きな事をして欲しいとの思いから「フリーサロン早友会」と命名しました。自治会が毎月チラシで案内し、第2、第4月曜日の10時から月2回開催しています。

受付後、参加者全員でラジオ体操、その後ニュースポーツの紹介、グループに分かれての脳トレ、卓球、折り紙、書道などをおこなっています。

毎回20人程度が集まっています。参加者は、地域の高齢者の見守りや気軽にできる日常支援もおこなっており、地域での支え合いにつながっています。

市社会福祉協議会では、このような地域の支え合いやサロンを推進しています。

目指すのは
支え合いの
地域づくり

支え合い推進会議研修会

1月30日、えーるピア久留米・視聴覚ホールにて「支え合い推進会議研修会」を開催しました。当日は各校区の「支え合い推進会議」委員や、これから取り組もうとする校区コミュニティ組織、校区社協関係者等、約250人が参加しました。

まずローカリズム・ラポ
代表 井岡仁志氏いおかひとしが「支え合
い推進会議に期待するもの」
と題して講演、住民の支え
合いがもたらす効果につい
て、今後の取り組みへの期待
を込めて話されました。

続いて、すでに取り組み始
めている3校区からの活動
報告がありました。それぞ
れの支え合い推進会議よ
り、西国分校区の荒木征洋

会長、三潞校区の稲田善嗣いなだ ぜんすく副会長の両氏からは、校区コミュニティ組織が推進会議に取り組む必要性について話されました。青峰校区うのひさおの内野壽雄会長からは校区の生活支援事業について、校区の特徴を交えつつ話されました。

参加者からは、「ぜひ取り組みたい」「自分たちの課題である」といった前向きな声が聞かれました。

市社会福祉協議会では本年度も推進会議に取り組む校区を支援するとともに、支え合い推進会議についてより多くの市民に知っていただけるよう研修会をおこなっていきます。



活動報告をおこなう三者

ボランティア団体の 設立を支援します

ボランティアセンターでは、活動が続いていく中での活動資金や活動場所、運営についての困り事などに対する様々な支援をおこなっています。

中でも、新たに立ち上げたボランティア団体に対しては、一定の条件があります。が、「団体設立補助」をおこない、安定した活動ができるように支援しています。

今回は、平成29年度新たに活動を始め、団体設立補助を受けた3団体を紹介します。

プレストケア お仕事プロジェクト

プレストケアお仕事プロジェクトは、平成29年2月に設立した団体で、乳がん患者の社会参加と企業等への理解促進活動に取り組まれています。

各種イベント等の出店ブースを活用して、乳がん患者が手作りの物品の販売と、乳がんに関する理解を広める啓発活動を実施しています。

フードバンクくるめ

フードバンクくるめは、平成29年4月に設立された団体で、企業や個人から寄せ

られた食材やお菓子を、市内の子ども食堂や、支援が必要な世帯などに届ける活動をしています。

ボランティアセンターへの相談の中で、倉庫備品の購入やチラシの作成などにボランティア団体設立補助を活用されました。

3B体操久留米サークル

3B体操久留米サークルは、平成29年5月に設立した団体で、体操を通じて、市民の健康づくりを目指す団体です。

遊びの要素を取り入れた健康体操で、気軽に、体に無理なくできる「3B体操」を、障害者施設や子育てサロン、高齢者サロンなど、要望に応じて、様々な場所へ出かけて活動されています。

平成30年度

ボランティア団体 設立補助 受付中

1 補助金額 10万円(上限)

2 条件等

- ①団体を立ち上げて1年未満、または、これから活動を始めようとしている団体
- ②他の公的補助を受けていない団体
- ③その他、取り組む活動内容について、審査があります。

詳しくは、ボランティアセンターにお問い合わせください。

安心してボランティア活動を

ボランティア活動保険への加入手続きはお済みですか？

この保険は、ボランティア活動中にけがをした場合の「傷害部分」と、第三者の身体または財物に損害を与えた際に賠償金を支払う「賠償責任部分」をセットにした保険です。

補償期間は加入日の翌日から年度末の3月31日までで掛金は350円(Aプラン基本タイプの場合)です。

災害被災地での支援活動に参加する場合は地震・噴火・津波による傷害も補償する天災タイプに加入する必要があります。

ボランティア活動イベントの際には、主催者が加入する行事用保険もあります。

申し込みは、市社会福祉協議会ボランティアセンターまで。



補償金額 (保険金額)

| プラン | | Aプラン | Bプラン |
|-------|---------|---------|---------|
| ケガの補償 | 死亡保険金 | 1,040万円 | 1,400万円 |
| | 入院保険金日額 | 6,500円 | 10,000円 |
| | 通院保険金日額 | 4,000円 | 6,000円 |

保険料 (1名あたり)

| プラン | | Aプラン | Bプラン |
|-----|-------|------|------|
| タイプ | 基本タイプ | 350円 | 510円 |
| | 天災タイプ | 500円 | 710円 |

(※対象となるボランティア活動には一定の条件があります)

【問合わせ】市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 0942・34・3035 FAX 0942・34・3090 E-mail/heartful@kumin.ne.jp



住み慣れた地域で 安心して暮らせるように

平成29年度福岡県ひとり暮らし高齢者等
見守り活動に関する知事表彰
『高良内校区ふれあい明星の会』

2月23日、福岡県は、ひとり暮らしの高齢者等
が地域で孤立せず安心して生活できるように見
守り活動をおこなっている地域4団体、1事業者
に対し、表彰をおこないました。久留米市からは、
「高良内校区ふれあい明星の会」(近藤嘉一郎会長
写真右から2人目)が受賞されました。

ふれあい明星の会は、高良内校区の一人暮らし
の高齢者への訪問活動を民生委員と連携しておこ
なったり、毎月の定例会時に訪問活動時の課題や
悩みを出し合い、関係機関と連携しながら、校区
内の様々な福祉の問題への支援・対応をおこなっ
ています。



「ふれあい明星の会」の皆さんと小川県知事



5月は赤十字運動月間

活動資金にご協力をお願いします

1877年 西南戦争
1923年 関東大震災
1935年 朝鮮連山航空機墜落救助
1945年 戦時・戦後大震災
2011年 東日本大震災
2016年 平成28年熊本地震
2017年 平成29年九州北部豪雨

はじめて赤十字を行った西南戦争以降、
さまざまな災害や事故の現場に約7,800回、
救済を担ってきました。
こうした活動は、皆さまの支援とご寄付によって支えられています。
皆さまへの御賛助を、これからも

わたしたちは、
救うことを、続けます。

活動資金にご協力をお願いいたします

日本赤十字社 福岡県支部
092-523-1171

皆さまにご協力いただいた活動資金は日本赤
十字社の3つの活動領域で活用されます。

いのちを救う
医療や災害救護など、いのちを救う活動をおこ
なっています。

ひとを育む
看護師の育成や青少年ボランティア活動を通
して、技術や知識、そして想いを未来へとつないで
います。

せいかつを支える
全国で福祉施設を運営しながら、ボランティア
の皆さんと一緒に、地域に密着した幅広い活動を
おこなっています。

【問合わせ】

日本赤十字社久留米市地区

(市社会福祉協議会内)

TEL 0942-34-3035
FAX 0942-34-3090



みんなで感じるバリアフリー

北野中学校福祉体験

2月27日(写真右)、北野中学校1年生(137
人)が車いす利用者の介助や目の見えない人の介
助などの福祉体験をしました。

体験後「アイマスクをして、歩くことはとても怖
かったけど、介助してもらえらることで安心して歩
くことができました。」と皆で感想を発表しあいま
した。

引き続き3

月6日(写真
左)には、身体
障害者と視覚
障害者のお二
人をゲスト
ティーチャー
に迎え、日常生
活の中での工
夫や、思いを聞
きました。

周りの「何か
お手伝いでき
ることはあり
ますか」の一言
から、やさしい
街に変えられ
る事を感じた
授業となりました。



ゲストティーチャーの講演



介助体験

あなたの会費が久留米の福祉を進めます

平成30年度 社会福祉協議会 会員加入のお願い

市社会福祉協議会では、「福祉への住民参加」をめざし、社協会員制度に取り組んでいます。

会費は、地域福祉活動推進の財源として有効に活用させていただきます。

| 会員の種類 | 会費(年額) |
|----------------------------|----------------------------|
| 賛助会員 (本会活動の趣旨に賛同いただける方) | 個人1口 1,000円 法人1口 5,000円 |

【加入方法】

市社会福祉協議会窓口(各支所含む)にて入会
振込による申し込み
(筑邦銀行の専用振込用紙を送付します)

【問合わせ】

市社会福祉協議会 総務課
TEL 0942・34・3035 FAX 0942・34・3090

社会福祉事業寄付金

石貫 良枝(国分町)

聴覚障害者協会

「法人会員」

桃田 ヒロミ(城島町)

坂井 恵美(北野町)

高山 一美(田主丸町)

藤原 ハル子(田主丸町)

倉富 敏之(田主丸町)

小西 ミチル(田主丸町)

田中 ミツ子(善導寺町)

古賀 朝子(安武町)

古田 司(合川町)

熊丸 弘一(梅満町)

中島 節代(野中町)

「個人会員」

平成29年12月1日から
平成30年2月28日まで

賛助会員

寄付者一覧(敬称略)

「芳志ありがとう」ございました

久保田 宏(善導寺町)

梅山 泰子(小森野)

田島 恵美子(中央町)

香典返し寄付金

(株)マミーズ西牟田店

女性お楽しみクラブ

フリーランスプランニング(株)

福岡支部久留米事務所

日本競輪選手会

真如苑(野中町)

塚本 徹也(小森野)

福田 知隆(野中町)

福田 知隆(野中町)

日本競輪選手会

福岡支部久留米事務所

フリーランスプランニング(株)

女性お楽しみクラブ

(株)マミーズ西牟田店

香典返し寄付金

田島 恵美子(中央町)

梅山 泰子(小森野)

久保田 宏(善導寺町)

「くるめ福祉」アンケート

次の質問にお答えください。

【質問】

- ①どの記事が一番印象に残りましたか。
- ②こんな記事があったらいいと思うものはありますか。
- ③その他、何かご意見があればお寄せください。

お寄せいただいた方には、抽選で5名の方に
500円分のクオカードを差し上げます。

なお当選者の発表は、クオカードの発送をもって
代えさせていただきます。

【申込み締切】

平成30年5月15日(火)必着

【申込み方法】

住所、氏名、電話番号を記入の上、
郵便又はメールでお寄せください。

【送付先】

郵送

〒830-0027
久留米市長門石1丁目1番34号
久留米市社会福祉協議会
「くるめ福祉広報係」宛

メール

題名に「くるめ福祉広報係」と記載
アドレス heartful@kumin.ne.jp

【ご意見・問合わせ】

市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 0942・34・3035 FAX 0942・34・3090

久留米市社会福祉協議会

人事異動等のお知らせ

●4月1日付 一般職員

| 氏名 | 新 | 旧 | 備考 |
|--------|---------------------|---------------------|----------|
| 豊福 由紀子 | 常務理事 | 久留米市子ども未来部次長 | 市からの派遣 |
| 名嶋 治 | 久留米市教育委員会教育部 次長 | 事務局次長 | 市からの派遣終了 |
| 佐藤 健介 | 地域福祉課 主査 | 久留米市健康福祉部地域福祉課 主任主事 | 市からの派遣 |
| 深川 剛 | 総務課 課長補佐 | 生活支援課 課長補佐 | 配置換え |
| 葉山 博章 | 在宅福祉課 課長補佐(兼)技能主査 | 在宅福祉課 技能主査 | 昇任 |
| 古谷 潔子 | 生活支援課 主査 | 総務課 主査 | 配置換え |
| 川上 幸男 | 総務課 主査 | 総務課 主事 | 昇任 |
| 塚本 健治 | 総務課付 主査(健康福祉部地域福祉課) | 地域福祉課 主査 | 市への派遣 |
| 池田 昇平 | 地域福祉課 主事 | 総務課付(健康福祉部長寿支援課) | 市への派遣終了 |
| 寺島 妃呂子 | 総務課付(健康福祉部地域福祉課) | 地域福祉課 主事 | 市への派遣 |
| 秋吉 裕子 | 地域福祉課 | | 採用 |
| 田中 亜依 | 地域福祉課 | | 採用 |
| 新宮 陽向 | 地域福祉課 | | 採用 |

●4月1日付 嘱託職員(採用)

| 氏名 | 所属等 |
|--------|---------------------------------|
| 別府 正宏 | 事務局次長 |
| 大熊 一代 | 在宅福祉課(居宅介護) |
| 宮崎 高義 | 在宅福祉課主幹(兼)田主丸支所長(兼)田主丸老人福祉センター長 |
| 千代島 恵治 | 城島支所 支所長 |
| 中野 祐一 | 生活支援課 相談員 |
| 池田 清志 | 市総合福祉会館 |
| 大津 雪男 | 三瀬総合福祉センター |

●3月31日付 退任

| 氏名 | 所属等 | 備考 |
|------|------|----------|
| 野口 正 | 常務理事 | 市からの派遣終了 |

●3月31日付 退職

| 氏名 | 所属等 | 備考 |
|-------|------------|------|
| 大熊 一代 | 在宅福祉課 技能主査 | 一般職員 |
| 今村 一樹 | 城島支所 支所長 | 嘱託職員 |
| 岡本 慎行 | 総合福祉会館 館長 | 嘱託職員 |
| 中野 進 | 生活支援課 相談員 | 嘱託職員 |

久留米市成年後見センター便り⑭

市成年後見センターでは、成年後見制度に関する相談などを行っています。特に専門的な相談に関しては毎週木曜日に弁護士相談も行っています。事前にご予約のうえ、お気軽にご相談ください。

市成年後見センター弁護士が、成年後見制度に関する疑問にシリーズで答えていきます。

Q. 親の成年後見人をしていますが、成年後見人が変更することはあるのでしょうか。

A. 通常は本人が死亡するか判断能力が回復するまで業務は継続しますが、後見人等が変更する場合として解任と辞任があげられます。解任の場合、後見人等に不正な行為(※1)、著しい不行跡(ふぎようせき)(※2)、その他後見の任務に適しない事由(※3)があった際、本人・本人の親族・後見監督人・家庭裁判所の職権などによって後見人解任の審判をして解任されることがあります。また、辞任については、家庭裁判所に申し出て許可をされた場合に辞任できることがあります。自らの都合で自由に辞任することはできず、辞任が認められる例としては、後見人等が病気や高齢になることや、遠隔地へ転居して職務を行うことが難しくなった場合などに限られます。

※1: 本人の財産を横領するなどの違法な行為

※2: 品行がはなはだしく悪い

※3: 後見人の権限を乱用したり、不適当な方法で財産を管理したり、任務を怠ったりした場合

相談時間

月曜～金曜/8時30分～17時15分
(土・日・祝日・年末年始はお休みです。)

相談は無料です。

※弁護士相談は事前に予約が必要です。

【問合わせ】

市成年後見センター
(市社会福祉協議会内)
TEL 0942・30・2732
FAX 0942・34・3090

今回の担当弁護士

せいすい
青翠法律事務所
大脇 久和 弁護士



5月～7月 校区别献血日程 予定表

| 校区・地域 | 日程 | 場所 | 受付時間 |
|-------|----------------|-----------------|----------------------------|
| 5月 | 東国分 16日(水) | 東国分校区コミュニティセンター | 10:00～12:00 13:00～15:00 |
| | 鳥飼 22日(火) | 鳥飼校区コミュニティセンター | 10:00～12:30 13:30～15:00 |
| | 山本 30日(水) | 山本校区コミュニティセンター | 9:30～12:00 |
| | 安武 30日(水) | 安武校区コミュニティセンター | 14:00～16:00 |
| 6月 | 京町 8日(金) | 京町校区コミュニティセンター | 10:00～12:30 13:30～15:00 |
| | 三瀬地域 13日(水) | 三瀬保健センター | 10:00～12:00 13:00～15:30 |
| | 日吉 15日(金) | 日吉校区コミュニティセンター | 10:00～12:00 13:00～15:30 |
| | 荒木 19日(火) | 荒木校区コミュニティセンター | 9:30～12:00 13:00～15:00 |
| 7月 | 善導寺 4日(水) | 善導寺校区コミュニティセンター | 9:30～15:00 |
| | 篠山 4日(水)～5日(木) | 市役所(くるみホール) | 9:30～11:30 12:30～16:00 |

献血の日程は、市社会福祉協議会のホームページでもご覧になれます。
フェイスブックやツイッターも随時更新しています。

～行ってみよう 献血～

献血とは、輸血を必要としている人のために、健康な人が血液を提供するボランティアです。

福岡県内では、1日あたり約540人が、輸血を受けていると言われています。医療が発達した現在でも、血液は人工的につくることができません。また、血液は長期保存ができず、なかでも血小板製剤は、採血後4日間しか保存できません。そのため、土日に限らず平日にも、献血バスなどでご協力をお願いしています。特に、若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠となっています。

皆さんの血液が、誰かの命を救います。
献血へのご協力を、
よろしくお願いいたします。



【問合わせ】市献血推進協議会
(市社会福祉協議会内)

TEL 0942・34・3035

FAX 0942・34・3090

E-mail/
k-syakyo@kumin.ne.jp

